

最優秀賞

## 正しい古紙回収

大恵 やすよ (主婦：兵庫県)

「これって古紙としてリサイクルできる？」と、一日に何度も子供たちが私に尋ねます。不要になった紙をゴミとして捨てるのではなく、古紙として有効活用することが大事だと、子供たちには日ごろから口ずっぱく言い聞かせています。古紙を繰り返し使うことで、限りある資源を未来に残すことができ、また紙をリサイクルすることでゴミが少なくなり、廃棄物を減らすことにもつながります。古紙にはいくつかの種類があります。それを分別することは、大人でも難しいと感じることが多々あります。そこで、ゲーム感覚で覚えることができれば、古紙回収率はぐっと上がり、地球の未来のためにもなるのではないかと考えました。これまでもゴミの分別をするゲームはありましたが、今回は古紙としてリサイクルできるか否かに関して詳しく知ることができるゲームとなっています。古紙として回収するものには新聞や段ボール、雑誌、雑がみや飲料用のパックなどがあります。これらの古紙をリサイクルするために、ゲームの初めにまずは種類ごとに分別することから始めます。

そしてここから一番重要なのが、古紙に製紙原料としてふさわしくない物を混入させないことです！これが難しく、例えば窓のついた封筒やビニールコート紙、紙コップなどワックス加工紙はリサイクルできません。その他にもいっけんすると古紙として出せそうなものでも、対象外の物があり、これらをゲームで学ぶことができればいいと考えます。紙類以外の混入も目立つそうで、中には金属クリップやセロハン、プラスチックが混じっているようです。

ゲームでは、リサイクルできるものとできないものとを写真や映像で見せるなどしてわかりやすく表示し、それらをきちんと分けることで、実生活にもいかせると考えています。ゲームを利用しながら環境問題についても考えることができ、これからの地球のためにも小さな一歩になるのではないかと思います。